

「循環のまち・京都プラン」アクションプラン（行動計画）の
成果目標、モニタリング指標及び実施目標等について

1 新京都市循環型社会推進基本計画策定に向けた提言について（審議会答申）における行動計画に関連する記述（抜粋）

- ・ 「循環型社会ビジネスの規模の拡大」など総合的な状態を示す指標については、必要に応じて見直した上で、身近な内容の指標を設定していただきたい。
- ・ 数値目標の設定に当たっては、本計画で取り組む施策の効果が反映されにくく、目標設定が困難であると考えられるのであれば、少なくとも推移を把握するためのモニタリング指標として設定し、数値の動向を把握されたい。
- ・ また、モニタリングに当たっては、市民アンケート等を用いて可能な限り市民や事業者の行動変化を捉えていくべきであると考える。
- ・ 温室効果ガスの排出量、削減量の数値目標及び取組指標については、十分な審議には至らなかったが、新基本計画において設定されたい。
⇒ 温室効果ガスについては「循環のまち・京都プラン」にて設定済み。
取組指標については、同プランで、行動計画において設定することとしている。
- ・ 国等で定められた取組指標との連動性や現行計画との継続性は必要であるが、現時点で既に目標を達成している指標や新基本計画に定める施策との対応性が低い指標については見直し、新たな指標を追加することでメリハリを持たせる必要がある。

2 「循環のまち・京都プラン」における行動計画に係る記述（要約）

(1) 基本的事項

- ・ 「循環のまち・京都プラン」策定後、直近5年間の施策の実施スケジュール等を盛り込んだ行動計画を作成する。
- ・ 事務事業（「循環のまち・京都プラン」の41の推進項目を進めていくための個別の具体的な取組）について、「循環のまち・京都プラン」策定後に行動計画（アクションプラン）を作成し、スケジュールなどを示す。

(2) 目標及び指標の設定

- ・ 行動計画において、個々の推進項目の進捗状況を把握するための、分かりやすい指標を設定する。
- ・ 「ごみを出さない消費行動の実践」、「リユース容器の普及」などの、身近で分かりやすく、毎年更新が可能な循環型社会構築に向けた行動の変化に関する目標を、本計画策定後、作成予定の行動計画の中で設定する。

(3) 「循環のまち・京都プラン」の進捗管理

- ・ 行動計画に基づき、定期的に計画の進捗管理を行う。
- ・ 可能な限り、ごみ調査、アンケート調査等により、実施効果を確認し、進捗の程度に応じて施策の充実・強化に向けた取組を進める。

3 アクションプラン作成状況

京都市では、審議会答申及び「循環のまち・京都プラン」の内容を踏まえ、夏頃の策定を目指し、アクションプラン作成作業を進めており、現時点でのイメージは、次ページ以降（資料2-2）に示すとおり。

目標及び指標として掲げる項目を中心にアドバイスをいただきたい。